

品種解説：「チヨホナミ」

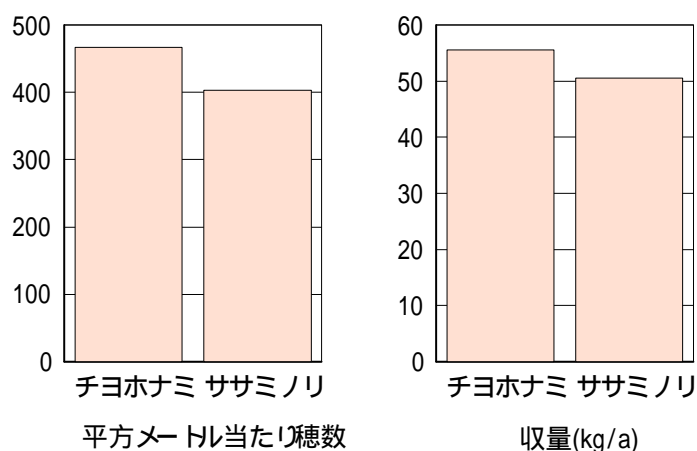
概要：本品種の障害型耐冷性は「ササミノリ」より明らかに強く、「コガネヒカリ」並みに強い“中”である。名前の意味は、“仙台平野の稲作の発展を願って”を表現する。

1．来歴の概要

・良質良食味系統である「越南 121 号（アキホマレ）」を母とし、強稈多収耐病系統である「東北 125 号（コガネヒカリ）」を父として、1979 年に宮城県古川農業試験場で交配された。1984 年に「東北 134 号」の系統名が付けられ、1987 年に水稻農林 285 号として登録された。

2．形態的特性

- ・ 稈 長：「ササミノリ」より短い。
- ・ 穂 長：「ササミノリ」並みかわずかに長い。
- ・ 穂 数：「ササミノリ」より多い（下図参照）。偏穂数型のうるち種である。
- ・ 粒 大：「ササミノリ」並みである。
- ・ 千粒重：「ササミノリ」より小さく、「ササニシキ」よりやや重い。



3．生態的特性

- ・ 出穂期：「ササミノリ」よりやや遅い。
- ・ 成熟期：「ササミノリ」より早い。育成地では“中生の中”である。
- ・ 収量性：「ササミノリ」より高く、多収である（上図参照）。
- ・ 耐倒伏性：「ササミノリ」より明らかに強い。
- ・ 葉いもち抵抗性：「ササミノリ」より弱く、「ササニシキ」よりやや強い程度。
- ・ 穂いもち抵抗性：「ササミノリ」と同程度。
- ・ 耐冷性：「ササミノリ」より明らかに強く、「コガネヒカリ」並みに強い。
- ・ 穂発芽性：「ササミノリ」並みである。

特 性	チヨホナミ	ササミノリ
耐冷性	中	やや弱
耐倒伏性	強	やや弱
葉いもち抵抗性	やや弱	強
穂いもち抵抗性	中	中
穂発芽性	中	中

4．品質・食味特性

- ・玄米の外観品質は「ササミノリ」並みに良好である。
- ・食味は「ササミノリ」より優れ、「ササニシキ」並みで“上の中”である。

5．適地等

- ・東北中南部の平坦地帯に適する。

6．栽培上の注意

- ・葉いもち抵抗性がやや弱いので、防除に留意する。
- ・二次枝梗割合が高く、多肥栽培では玄米品質が低下することがあるので、追肥時期等肥培管理に注意する。

<参考資料>

農林水産省農林水産技術会議事務局(昭和62年6月):昭和62年農林水産省育成農作物新品種(夏作物・園芸作物)。